

# 学人ニュース

図書館を利用して行った生涯学習の発表会

## 平成23年度 図書館まなびトーク

千葉県立西部図書館では、読書週間（10月27日（木）から11月9日（水）まで）に当たる11月5日（土）に、20名のご参加をいただき、平成20年度から通算7回の「図書館まなびトーク」を開催しました。

ご応募いただいた当館利用者のお二人に、古澤信彰さんには「私の仏教独学」というテーマで、行政翔平さんには「新しい観光の形。東葛でできる事。」というテーマで発表していただきました。

図書館で調べたことやご自分の体験についての、お二人の熱のこもった発表に、参加者の皆さんも、熱心に聞き入っていらっしゃいました。



### 発表要旨（\*発表者から提出されたものです）



#### 私の仏教独学

ふるさわ のぶあき  
古澤 信彰

生涯学習として20年来続けてきた仏教研究。これまで読んだ經典や専門書について、参拝したさまざまな古寺について、また、パソコンを活用したまとめ方などをお話しします。

#### ◆前半 出会い

大野可圓「維摩の説法」（非売品）

仏教の精髓がかかれた好著で西部図書館に寄贈したく思います。私のような老人が持っていてはもったいない。次世代の人が読んでくださればありがたい。20年ほど前、たまたま出張ついでに法隆寺に行き、茶屋で本書に出会い、仏教このめり込みました。

#### 課題

「悟ってなんだ？」「空(くう)ってなんだ？」  
これは維摩經の基本課題:さっぱり分からず。

#### 読書

梅原猛「聖徳太子」

聖徳太子は自らを維摩になぞらえて生きた(前記書)ということに触発されて読書。梅原古代史学として一世を風靡した力作。著者の「知る喜び」が伝わってくる。

大乘仏教の基本經典類:法華經、般若、華嚴經、浄土三部經、およびそれら解説書。

富永仲基の大乘非仏説:江戸時代の商家の倅でこま

で読んでいた人がいた！

自然に小乗仏教～原始仏教に関心が広がった。

小乗:今はテーラワダ仏教という。

中村元(はじめ)先生の阿含經典類口語訳、岩波文庫。

#### 気付き

經典に「悟りとは何か」とは書いていない。(～後記、自分なりの発見あり)。經典に書いてあるのは、「ハウツー悟り」だけだ。

經典はデキゴトロジー:面白い話が満載されている！

～自分の無知を反省、宗教教育は必要だ。←日本の戦後教育への疑問。

#### ◆大阪在住四年

#### 課題

体が自由なうちに、関西のできるだけ遠くの神社仏閣に参拝する。「そのうち二度と参拝できなくなる」と気付き、写真撮影も始めた。

## 読書

密教経典:大日経、金剛頂経、般若理趣経  
五来重(しげる)先生の宗教民俗学もろもろ

## 気付き

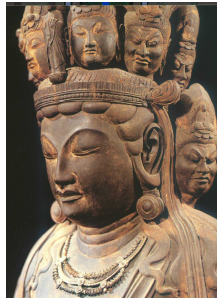
公式のオカミ仏教の下、民間の草の根仏教が広漠として日本の仏教を支えてきた。草の根仏教の多くは観音信仰か薬師信仰。国分寺は大半が廃寺vs草の根は生き延びた。仏教は神仏習合した。これは仏教が生き延びるための方便である。方便の中身:Health & Fortune

白州正子(大変な才媛):神仏習合したのは仏教のほうの事情だと女の直感「かくれ里」。ちなみに彼女の脳ミソは完全に神仏習合している(私もそうだ)。

渡岸寺(どうがんじ)国宝十一面観音:  
すっかりほれ込んだ。この観音さんを地元の民衆がいかに大切にしてきたか面白い話あり。奈良時代の泰澄(私度僧?)との出会い〜北は羽黒山まで日本海沿いに延々と伝説がある。

密教と出会い:宗派を超えた仏教共通の考え方があることに気付いてきた。

大乘の空とは原始仏教の縁起説を別の表現したもので、意味は同じだろう。大乘非仏説はあたらな。大乘仏教の特質は菩薩行と空思想だといわれる。でも釈迦の45年間の行脚は菩薩行そのものだ。「大乘の思想は原始仏教にすでに現れている。」と思うようになった。大日経「菩提心を因と為し、悲を根本と為し、方便を究竟と為す」。金剛頂経には釈迦が菩提心(悟り)に至るプロセスが書いてある!



## ◆後半〜現在

### 課題

関西で観音信仰や神仏習合に気付き、関東での事情を知るため寺社仏閣に参拝。自分も無宗派ながら仏教広宣になにかお役立ちできればすべき(法華経の教え)。〜今回、学びトークに応募したのも、そういう思いからです。

### 読書

五来先生の本のほか、最近では唯識の経論を読むことが多い(理由は後記)。「関東古代寺院の研究」関東で古刹に参拝するなら必読の好著。

## 気付き

関東でも観音信仰が圧倒的に多数派であり、神仏習合の度合いが一段と強い(山岳の修験道)。この点、梅原先生が『関東は不動、関西は観音』というのは間違っている。

参照:「梅原猛の授業 仏教」2002年、朝日新聞社

関東の古刹は関西に劣らず歴史が深い。例:雨引観音〜寺歴は用明帝まで遡る!ヤマトタケルノミコトの関東征伐(日本書紀)を見るまでもなく関東の歴史は非常に古い。古墳も各地に多く、仏教の関東伝来も非常に古いのではないかと?研究の進展が待たれる。

参考:鬼石町教育委「シンポジウム古代東国仏教の源流」新人物往来社1994年。好著。編者の熱意が伝わる。鬼

石町の町おこし活動に最澄を引っ張り出した!

ついでに、大山誠一「聖徳太子の真実」平凡社 2003年について(県立東部図書館から取寄可)。聖徳太子非実在説の現代版。私は太子を崇拜しているのでケシカランと思うが…。伝承を証拠がないといって否定するのは学者の態度として間違っていると思う。常識を働かすべき:わずか100年前の歴史を捏造したら国書の信頼が一気に崩壊する。

明治新政府の神仏分離政策は重大なミスであり、戻すべきである(但し、戻りそうにない)。日本仏教では唯識があまり根付かなかったのが問題だろう:如来蔵思想の浅さ、甘さ。(昨今の悲惨な事件を見ると唯識の考え方のほうが的を得ているような気がする。)例:オウム真理教、秋葉原通り魔、イギリス人英会話教師殺人、毎年3万人の自殺者などなど…。こういう事象は、十句観音経(後記)を唱えるだけで起きにくくなるはずだ。

## 生涯学習、三種の神器:図書館と放送大学とパソコン

高齢社会になって、生涯学習はシニアの元気増進にとって不可欠だと確信します。

下手な川柳を3句:

「好奇心赴くまに図書館へ」調べ物は図書館が一番。

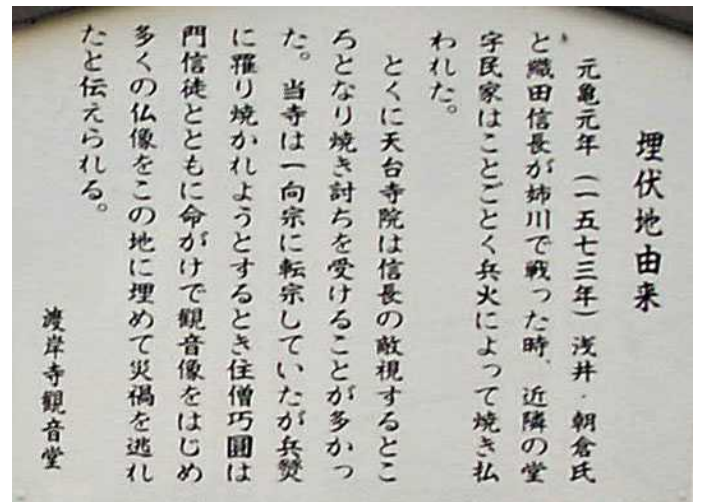
「放でシニアの脳ミソ若返り」学生時代に学んだことは全く陳腐化しています。

「パソコンでプロの垣根が低くなり」例:若狭の古寺のパンフレットを住職とともに手作りで制作。

私は、図書館へ行くときには大概ノートパソコンを持参し、メモを直接入力します。そうすると、後で参照したり整理するのが楽になります。西部図書館で持ちこみ席が増えたことに大賛成!

近年、絶版になる書物が大変多く、高価で仏教専門書は1万円が当たり前。図書館に行くしかありません。

## 補足資料

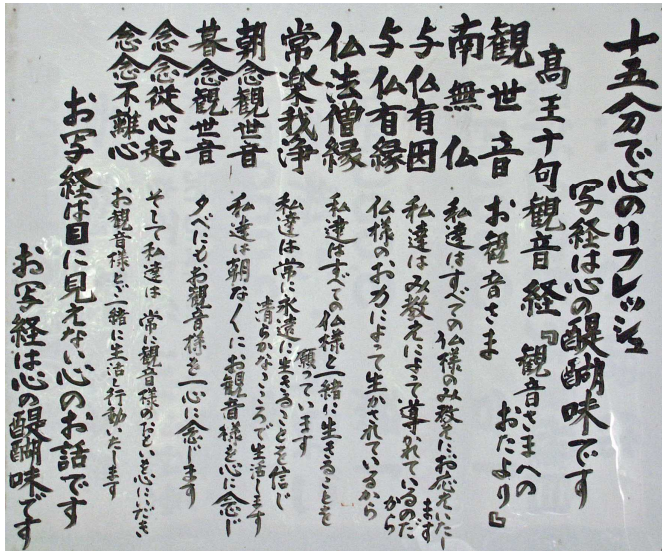


渡岸寺十一面観音が、信長の圧政にあっても、住民によって兵火から守られたことの看板。ほとぼりが冷めるまで



土中に隠されて、金箔は剥げ落ちて接着用の漆が表面に現れ、ご尊体は真っ黒になった。国宝指定を受けた十一面観音はたった7尊。すべて関西にいらっしやる。滋賀県高月町、新幹線米原から在来線で遠くない。今は、免震装置つき、最新の観音堂にいます。

なお尊像の写真コピーは寺から許可を得ています。著作権法違反はありません。



これは京都の南東、醍醐寺でみかけた看板。十句観音経には 10 行の中に観音経のエキスが詰まっています。法華経第 25 章の観音経の本体が覚えられず、私は十句観音経で代用していつも唱えております。

仏教の根本思想は、あらゆる先入観や偏見から離れて、物事のあるがままを見る自在な心を持ちなさいという教え

だと思います。だから、玄奘は観自在菩薩と訳しました。

Avalokitesvara

いつも唱えていると心が和やかになります。



崇仏のご利益の一つは、美しい自然に感動することが多々あることです。琵琶湖の東に湖東三山という名刹にして古刹があり、金剛輪寺の紅葉はこのほか美しい。たまたまNHK ラジオで紅葉が見頃なことを聞き、すぐに深夜に車を走らせて見ることができました。「血染めの紅葉」と呼ばれる理由が分かります。この写真は 2002 年 11 月 17 日の朝撮影。紅葉はピーク日数が短い。もし行かれるのなら、寺に問い合わせて行かれるようお勧めします。寺の方は大変親切で私が千葉くんだりから来たこと知ると、いろいろ教えてくださいました。

宗教の三側面: 哲学、倫理学、祈り

どちらからアプローチしてもよい。自然科学万能主義では世の中行き詰る。私はたまたま哲学側から入ったが、最近別側面のほうを考えることが多い。

西部図書館の今後の大いなる発展を祈りながら終わりにします。ご静聴ありがとうございました。



## 新しい観光の形。東葛でできる事。

ゆきまさ しょうへい  
行政 翔平

時代の変遷とともに、観光産業が変わって来ています。今各地で起こっている、新しい観光産業について紹介し、それがどのような効果を生み出すかを踏まえ、東葛地域内の観光のあり方を考えます。

### 話し手紹介

行政翔平

1983年生まれ、我孫子市出身。大学時代は国内各地を旅行しつつ、ペンションやユースホステル、観光農園でアルバイトを経験。卒業後は伊豆や宮城のホテル・旅館で勤務。現在はNPOスタッフの傍ら、『サス旅』主宰として、東葛地方に観光コンテンツを作り、内外から人を集める事に取り組む。

【mail】 [oji.yukimasa@gmail.com](mailto:oji.yukimasa@gmail.com)

【facebook】 <http://www.facebook.com/sustour>

【twitter】 @izuppachi

### ●本日伝えたい事

- ・図書館の書籍を中心として調べた、着地型観光について
- ・東葛地方における観光について

### ●着地型観光について

- ・発地型と着地型
- ・地域住民が主役?の着地型
- ・着地型で蘇った観光地

### ●東葛地方における観光を考えてみる

- ・東葛地方に観光は必要か
- ・着地型観光を取り込むことでのメリット
- ・東葛地方でなにができるか?

### ●まとめ

- ・地域交流の魅力
- ・図書館と本で学ぶ面白さ

●参考文献

- ・『これでわかる！着地型観光 地域が主役のツーリズム』(尾家建生、金井萬造編) 2008年 学芸出版社
- ・『体験交流型ツーリズムの手法 地域資源を活かす着地型観光』(大社充著)2008年 学芸出版社
- ・『21世紀の観光学 展望と課題』(前田勇編著)2003年 学文社
- ・『もてなしの習慣 みんなで観光まちづくり』(福留強著) 2011年 悠雲舎
- ・『旅のもてなしプロデューサー 心編』(旅のもてなしプロデューサー養成講座実行委員会編) 2008年 ぎょうせい
- ・『観光とまちづくり -地域を活かす新しい視点-』(深見聡・井出明編)2010年 古今書院
- ・『ツーリズムビジネス(改訂版)-日本と世界の旅行産業-』(安達清治著)2002年 創成社

- ・『アーバンツーリズム- 都市観光論-』(淡野明彦著)2004年 古今書院
- ・『新・ムラ論TOKYO』(隈研吾・清野由美)2011年 集英社新書
- ・『田舎力 ヒト・夢・カネが集まる5つの法則』(金丸弘美著) 2009年 NHK出版
- ・『自分をいかして生きる』(西村佳哲著)2011年 ちくま文庫
- ・『自分の仕事をつくる』(西村佳哲著)2010年 ちくま文庫
- ・『観光白書(平成22年度版)』(観光庁)2011年 観光庁
- ・『地域力 渾身ニッポンローカルパワー』(地域振興総合研究所編)2010年 講談社
- ・『観光社会学 ツーリズム研究所の冒険的試み』(須藤廣、遠藤英樹著)2005年 明石書店
- ・『トーマス・クックの旅 近代ツーリズムの誕生』(本城靖久著)1996年 講談社現代新書
- ・『観光アート』(山口裕美著)2011年 光文社新書

●プロジェクト用資料

あなたも発表してみませんか

当館を利用して生涯学習を行っている個人やグループで、その学習体験を発表して下さる方を募集しています。

くわしくはカウンターにお問い合わせください。

図書館 まなびトーク 学人(まなびと) ニュース

発行日：平成23年12月15日

編集：千葉県立西部図書館

〒270-2252 千葉県松戸市千駄堀 657-7

TEL 047-385-4133 <http://www.library.pref.chiba.lg.jp/>